



は左義長・こんと焼き・ニル郎焼き・さいころなこ
いろいろな呼び名があります。

「どんど」とは「尊いもの」という意味があり、松飾りやお札には神様が宿っているので「尊や尊」のはやし言葉と一緒になったものと言われています。

どんど焼きは、無病息災を願ってお正月の松飾りやシメナワなどを集めて燃やします。また団子刺しはカツンボ(ヌルデ)の木の小枝に団子を刺し、焼けた団子を「虫菌の薬」だと言って食べます。

また書き初めの紙を燃やして高く舞い上がると字が上手になるといわれています。さまざまな願いがこの行事に込められています。このように正月飾りを燃やすという行為から神様を天に送る、正月の神が空に帰っていくという意味があります。



1) そだを集めて芯を作ります。

2) 松飾りを乗せます。



3) 全体に火を点火。

4) 火が充分に廻るのを待つ。



5) 火が少しおさまってから団子を焼きます。

道志村子ども農山漁村地域協議会 道志村観光協会 〒402-0211 山梨県南都留郡道志村6894-4

TEL 0554-52-1414 FAX 0554-52-1415 URL <http://doshi-kanko.com>

このリーフレットは、農山漁村地域力発掘支援モデル事業により農林水産省から助成を受けて作成しています。